

2010



特別規則書

2010 RALLY JAPAN

9月9日～12日

www.rallyjapan.jp

FIA WORLD RALLY CHAMPIONSHIP SPONSORS



Supplementary Regulations

目次

1. 公示	02
2. 概要	03
3. プログラム	05
4. エントリー	08
5. 保険内容	10
6. 広告及び ID	11
7. タイヤ	12
8. 燃料	13
9. レッキ	14
10. 参加確認	15
11. 車検、シーリング及びマーキング	16
12. その他手順	17
13. オフィシャルのウェア	18
14. 賞典	19
15. 再車検及び抗議・提訴	20
付則 1 アイテナリー	21
付則 2 レッキスケジュール	24
付則 3 CRO	25
付則 4 ゼッケン及び広告	26

1 公示

1.1 序文

本競技会は国際競技規則とその付則、FIA 世界ラリー選手権規定、FIA 規則に準拠した JAF 国内競技規則、並びに本特別規則書に従い開催される。

この特別規則書の内容等の変更並びに追加は、日付及びナンバーの入った公式通知により変更するものとする。(オーガナイザーまたは審査委員会により発行)。

これ以降に追加される情報は、8月12日(木)に発行されるラリーガイド2で案内される。

この特別規則書の原本は英語版であり、内容に疑義が生じた場合は英語版を優先とする。FIA 世界ラリー選手権規定は、FIA のウェブサイト「www.fia.com」から入手することができる。

1.2 路面の種類

アスファルト路面を 4.8%含む、グラベルステージ

1.3 スペシャルステージの総距離及びラリー全体の総距離

スペシャルステージ総距離: 301.12km

ラリー全体の総距離: 1205.07km

2. 概要

2.1 FIA タイトル

2010 世界ラリー選手権ドライバー部門
 2010 世界ラリー選手権コ・ドライバー部門
 2010 世界ラリー選手権マニファクチャラーズ部門
 2010 世界ラリー選手権カップチーム部門
 2010 プロダクションカー世界ラリー選手権ドライバー部門
 2010 プロダクションカー世界ラリー選手権コ・ドライバー部門
 2010 スーパー2000世界ラリー選手権ドライバー部門
 2010 スーパー2000世界ラリー選手権コ・ドライバー部門

2.2 FIA(国際自動車連盟)及び ASN (日本自動車連盟 JAF) 公認番号

FIA Visa No. 10WRC/300610 発行日: 2010 年 6 月 30 日
 JAF 公認 No. TBA 発行日: TBA

2.3 オーガナイザー名、住所及び連絡先

AG.メンバーズスポーツクラブ北海道 (JAF 公認クラブ No.01001)

場所: 003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9
 TEL: 011-864-2003
 FAX: 011-864-1192
 Email: info@rallyjapan.jp
 Website: www.rallyjapan.jp

2.4 大会組織委員会

組織委員長:	田畑 邦博	
組織委員:	槇田 龍史	
	大橋登美雄	高嶋 伸后
	須藤 憲光	加藤 和由
	Dmitry KRIVTSOV	田畑三枝子
	米澤 章	新井野美恵子

2.5 審査委員会

審査委員長:	Ms Waltraud Wunsch	(FIA)
審査委員:	Mr. Zrinko Gregurek	(FIA)
審査委員:	木全 巖	(JAF)
審査委員会秘書:	Ms. Yvonne Gilli	(FIA)

2.6 オブザーバー及びデリゲート

FIA オブザーバー:	Mr. Aman Barfull	(FIA)
FIA セーフティーデリゲート:	Mr. Jacek Bartos	(FIA)
FIA メディカルデリゲート:	Dr. David Vissenga	(FIA)
FIA テクニカルデリゲート:	Mr. Jérôme Toquet	(FIA)
FIA アシスタントテクニカルデリゲート:	Mr. Cronge Norstedt	(FIA)
FIA メディアデリゲート:	Mrs. Hayley Gallagher	(FIA)

2.7 競技役員

競技委員会委員長：	田畑 邦博
競技長 (COC)：	槇田 龍史
副競技長 DCOC)：	Mr. Dmitry KRIVTSOV
競技長補佐(リザルト)：	永井 真
競技長補佐(コース)：	中田 省吾
技術委員長：	米森 博
副技術委員長：	石川 和男
選手リレーション役員：	Mr. Peter MACNEALL
選手リレーション役員：	竹道 雄幸
メディアオフィサー：	中條 美幸
国内メディアオフィサー：	加藤 和由
国内メディアオフィサー：	天野 克彦
救急委員長：	米澤 章
救急委員：	高田 孝
救急委員：	乙供 邦彦
救急委員：	福本 光志
救急委員：	福田 安則
救急委員：	嘉屋 賢二
救急委員：	西尾 雄一
救急委員：	工藤 晶裕
救急委員：	三上 清春
救急委員：	田中 敏也
救急委員：	浅井 康文
医師団顧問：	野田 健
医師団長：	森 和久
副医師団長：	高嶋 伸后
イベントセクレタリー：	酒井 紀之
サービスパークコーディネーター：	山田 堅一
リグループコーディネーター：	TBA
システムリエゾン：	
VIP ホスピタリティーマネージャー：	Mr. Chris CARR
事務局長	須藤 憲光
事務局員：	大橋登美雄
事務局員：	新井野美恵子
事務局員：	田畑三枝子

2.8 ラリーHQ の場所

ラリージャパン HQ

(2010年9月5日 日曜日～13日 月曜日)

北翔クロテック月寒ドーム

〒089-0571 北海道札幌市豊平区月寒3条11丁目1-1

TEL : +81(0) 11-TBA

Email : info@rallyjapan.jp

FAX : +81(0) 11-TBA

Website : www.rallyjapan.jp

RALLY JAPAN大会競技事務局

〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9

TEL: 011-864-2003

E-mail: info@rallyjapan.jp

FAX: 011-864-1192

Website : www.rallyjapan.jp

3. プログラム

3.1 イベント前スケジュール

6月23日(水曜日)		
10時00分	エントリー開始	大会事務局
10時00分	メディア申請開始	大会事務局
7月6日(火曜日)		
10時00分	特別規則書の発行	www.rallyjapan.jp
8月9日(月曜日)		
18時00分	エントリー受付締切	大会事務局
8月11日(水曜日)		
18時00分	国内のメディア申請締切	大会事務局
8月12日(木曜日)		
10時00分	ラリーガイド2の発行	大会事務局
10時00分	ロードブックおよびルートマップの発行	大会事務局
8月18日(水曜日)		
18時00分	FIA 燃料オーダー締切	
18時00分	追加機材及び備品、設備の注文締切	大会事務局
18時00分	オーガナイザー指定燃料オーダー締切	大会事務局
18時00分	宿泊予約申込締切	大会事務局
18時00分	海外メディア FIA 申請締切	FIA
8月23日(月曜日)		
18時00分	シードエントリーリストの発行	www.rallyjapan.jp
8月25日(水曜日)		
18時00分	ヘリコプター登録締切	大会事務局
9月1日(水曜日)		
18時00分	各チームのサービススペース公示	大会事務局
9月4日(土曜日)		
09時00分	チームへのサービスパークオープン	大会事務局

3.2 イベント中のスケジュール

9月5日(日曜日)		
13時00分	ラリーHQの開設	北翔クロテック月寒ドーム
13時00分-19時00分	ラリーHQ 開設時間	ラリー HQ
13時00分	公式掲示板の設置	ラリー HQ

2010





9月6日(月曜日)

09時00分-19時00分 ラリーHQ 開設時間
 09時00分-19時00分 レッキ受付
 17時00分-19時00分 レッキ用トラッキングの配布

ラリー HQ
 競技事務局
 競技事務局

9月7日(火曜日)

08時00分-19時00分 ラリーHQ 開設時間
 08時00分 レッキ開始
 09時00分-19時00分 参加確認、資料配布、
 サービス車両登録受付
 14時00分-19時00分 メディア受付開始
 17時00分-19時00分 FIA セーフティトラッキング
 の配布
 18時00分 公式車両検査スケジュールの公示

ラリー HQ
 レッキスケジュール参照
 競技事務局
 メディアセンター外
 競技事務局
 公式掲示板

9月8日(水曜日)

08時00分-22時00分 ラリーHQ 開設時間
 08時00分-22時00分 メディアセンター開設時間
 08時00分-21時00分 メディア受付
 08時00分-16時00分 レッキ
 09時00分-21時00分 公式車両検査、マーキング
 およびシーリング
 [P1 車両証明およびシーリングは
 公式通知でアナウンスされます]
 16時00分 WRC チームマネージャー
 ミーティング

ラリー HQ
 メディアセンター
 メディアセンター外
 レッキスケジュール参照
 北翔クロテック月寒ドーム

審査委員会室

9月9日(木曜日)

07時00分-22時00分 ラリーHQ 開設時間
 07時00分-22時00分 メディアセンター開設時間
 07時00分-20時00分 メディア受付
 08時00分-10時00分 シェイクダウン(P1,2ドライバー)
 10時00分-12時00分 シェイクダウン(P1,2,3ドライバー)
 13時00分 ヘリコプターパイロットブリーフィング
 13時30分 メディアセンター
 15時00分 FIA プレメディアコンファレンス
 第1回大会審査委員会
 16時00分 Day1 スタートリスト
 16時30分-17時30分 ラリーショー
 18時20分 Day1 スタート

ラリー HQ
 メディアセンター
 メディアセンター外
 サッポロドーム SSS
 サッポロドーム SSS
 TBA
 メディアセンター
 審査委員会室
 公式掲示板
 TBA

9月10日(金曜日)

08時00分-22時00分 ラリーHQ 開設時間
 08時00分-22時00分 メディアセンター開設時間
 09時00分 Day 1 セクション 2 スタート
 19時50分 1号車のオーバーナイトバルクフェルメ IN
 22時00分 Day2 スタートリスト

ラリー HQ
 メディアセンター
 サービスパーク
 サービスパーク
 公式掲示板

2010




9月11日(土曜日)

08時00分-22時00分	ラリーHQ 開設時間	ラリー HQ
08時00分-22時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
09時00分	Day2 スタート	サービスパーク
19時50分	1号車のオーバーナイトパルクフェルメIN	サービスパーク
22時00分	Day3 スタートリスト	公式掲示板

9月12日(日曜日)

05時30分-20時00分	ラリーHQ 開設時間	ラリー HQ
05時30分-20時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
06時10分	Day3 スタート	サービスパーク
15時00分	表彰式	北翔クロテック月寒ドーム
15時30分	再車検	北翔クロテック月寒ドーム
16時00分	FIA ファイナルメディアコンファレンス	メディアセンター
18時00分	暫定結果公示	公式掲示板

9月13日(月曜日)

09時00分-12時00分	ラリーHQ 開設時間	ラリー HQ
09時00分-12時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
09時00分	リザルトブックの発行	競技事務局
12時00分	ラリーHQ&メディアセンター閉鎖	北翔クロテック月寒ドーム

4. エントリー

4.1 日程

エントリー開始	6月23日(水)	10時00分
エントリー締切	8月9日(月)	18時00分

4.2 参加申込方法

RALLY JAPANに参加を希望する場合は、参加申込書に正しく記入し、大会競技事務局宛送付すること。8月9日(水曜日)18時00分に必着のこと。

RALLY JAPAN大会競技事務局
 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9
 TEL: 011-864-2003 E-mail: info@rallyjapan.jp
 FAX: 011-864-1192

申込書をファックスやで送付する場合、その原本はエントリー締切日から遅くとも1週間以内に大会競技事務局に到着しなければならない。

4.3 エントリー台数及びクラス

4.3.1 エントリーの上限は90台とする。

オーガナイザーは国際競技規則第74条に従って、エントリーを拒否する権利を有する。エントリーを拒否された者には、エントリー受付後8日以内にオーガナイザーよりアナウンスされる。エントリー台数がオーバーした場合、オーガナイザーが選考する権利を有し、ノンプライオリティードライバーの中から選定される。

海外で発給されたライセンスの保持者はその国のASNからの許可書を受け取るか、申込み用紙にASNの確認印を得なければならない。

4.3.2 競技に参加できるのは、以下の車両とする。

プロダクションカー(グループ N)
 排気量別クラス:

クラスN1: 1400ccを含む1400cc以下の車輛
 クラスN2: 1400ccを超え、1600ccを含む1600cc以下の車輛
 クラスN3: 1600ccを超え、2000ccを含む2000cc以下の車輛
 クラス N4: 2000cc を超える車輛

ツーリングカー(グループ A)
 排気量別クラス:

クラスA5: 1400ccを含む1400cc以下の車輛
 クラスA6: 1400ccを超え、1600ccを含む1600cc以下の車輛
 クラス A7: 1600cc を超え、2000cc を含む 2000cc 以下の車輛

FIA 選手権に参加可能な車両

2010FIA 世界ラリー選手権規定第 4 条を参照する事

4.4 エントリー料金

プライオリティードライバーはFIA世界ラリー選手権規定付則VIを参照。

法人（エントリーがドライバーでもコ・ドライバーでもない場合）

オーガナイザーによって提示された任意の広告をつけた場合 300.000円

オーガナイザーによって提示された任意の広告無しの場合 500.000円

プライベート（エントリーがドライバーあるいはコ・ドライバーの場合）

オーガナイザーによって提示された任意の広告をつけた場合 250.000円

オーガナイザーによって提示された任意の広告無しの場合 350.000円

4.5 エントリー料金の支払方法

エントリー料金は、以下の預金口座に銀行振込によって支払うこと

銀行： 北海道銀行
支店名： 流通センター前
口座名義： RALLY JAPAN (ラリージャパン)
口座番号： 普通預金 0991653
Swift Code: HKDBJPJT

支払いは日本円のみとし、すべての送金手数料は参加者負担とする。小切手は受け付

けない。そのエントリーの申請は、エントリーフィーの総額又はその競技者のASNより発行されている受領書が添付されている場合のみ、受け付けされるものとする。

4.6 エントリー料金の返金

エントリー料金は次の場合、全額返金される

(a) エントリーが受理されなかった場合

(b) ラリーが開催されなかった場合

オーガナイザーは、(各自のASNにより正当に証明された)不可抗力により出走できなくなった参加者にエントリー料金の50%を返金する場合がある。

5. 保険内容

競技参加車両(海外登録車両)は自賠責保険及びラリー競技に有効な任意の対人対物保険へ 加入することとする。海外登録競技車とクルーメンバーはオーガナイザーの用意する保険により以下の特約内で担保される。

スペシャルステージ観客用保険

- 1) 死亡: 最大100,000,000円
- 2) 入院: 7,500円/1日
- 3) 通院: 5,000円/1日

注:入院日数の上限は、事故日から数えて180日を限度とする。通院日数の上限は、事故日から数えて90日を限度とする。

ロードセクション第三者対人対物保険:

- 1) 対人: 最大 無制限
- 2) 対物: 最大 5,000,000円 (スペシャルステージで発生したものを含む)
- 3) 搭乗者: 最大 5,000,000円

注:入院・通院の合計日数の上限は、事故日から数えて180日を限度とする。

オーガナイザーの用意する保険はラリーのスタートからフィニッシュまで、もしくはリタイヤ、失格までを有効とする。

たとえオーガナイザーの発行するプレートをつけていても、全てのサービス用車輛は本競技会の正式な競技車とは認められずオーガナイザーの用意した保険の対象とはならない。

※ 日本国内登録車両もラリー競技に有効な任意の対人対物保険へ加入しなければならぬ。各自の保険と上記の保険を重複して加入することは出来ません。詳細は競技会事務局まで問合せすること。

クルーメンバー以外のチーム員及びサービス員は、オーガナイザーを通して下記の保険に加入することができる。

- 1) 死亡: 最大 10,000,000円
 - 2) 入院: 5,000円/1日
- 保険掛金 1名/7日間 1,850円

注:入院・通院の合計日数の上限は、事故日から数えて 180 日を限度とする。

*日本国内で登録された競技車両は、ラリー競技に有効な任意の対人対物保険へ加入することとする。その他の保険と重複して加入する事は出来ない。

6. 広告及び ID

6.1 ウィンドウに取り付けられる広告

屋根を含む車体への広告が許される。ウィンドウに広告を取り付けることは禁止されているが、例外として、日本国外で登録された車両は、視界が遮られることが無い範囲内で、高さ 10cm までの広告を含むバンドをフロントウィンドウ上部に張ることが認められ、リアウィンドウに高さ 8cm までの広告を含むバンドを張ることが許可される。

6.2 オーガナイザーの任意の広告

オーガナイザーの任意の広告を受け入れたエントラントは付則 4 に示すスペースを用意しなければならない。

6.3 酒類およびたばこの広告

日本国内において酒類、たばこの車体及びチームユニフォームへの広告に対して、制限はない。

6.4 ラリープレートおよびゼッケン

オーガナイザーは2010FIA世界ラリー選手権規定18条に従って、各クルーに対しラリープレートおよびゼッケンを配布する。これらのものは車検前までに付則4に従い車両に貼付されなければならない、またラリー期間中はその状態を保つこと。この規定に違反した場合、審査委員会に報告される。

7 タイヤ

7.1 ラリーで使用するタイヤの詳細

4WD車を使用する全ての競技者は、WRC規定第60、61、62条にて詳細に説明されている通り、ピレリ社が供給するタイヤを使用しなければならない。以下に示した数の使用が認められる:

プライオリティードライバー	タイプ	コンパウンド	ラリーで利用できる本数.	シェイクダウンが行われる場合の追加本数
1 & 2	Scorpion WRC 205/65 R15	ソフト	30	6
その他全ての 4WD 車両	Scorpion WRC 205/65R15	ソフト	20	5
ノンプライオリティの 2WD 車両	指定なし	指定なし	30	制限なし

7.2 レッキ用タイヤ

レッキに使用されるタイヤは、ターマック用の一般量産タイヤとし、プライオリティ1&2のドライバーは中でも、FIA がレッキ使用を認めたタイヤだけを使用する事が出来る。その他のドライバーは FIA 承認のタイヤか、以下の基準に準じるタイヤを使用しなければならない。溝の深さ 8.5mm、タイヤを 1 周しているストレートな溝の幅は最高 10mm、その他の溝の幅は最高 7mm とする。

8 燃料

日本において、燃料に認められる鉛の含有量は0g/リッターである(JIS K2255 検査手順)

8.1 注文方法

全てのプライオリティードライバーは FIA 燃料を使用しなければならない。FIA が認める供給会社は Petrochem Carless で、Vital Equipment Ltd より、燃料注文、提供、及び給油サービス業務を委託されているものである。FIA 燃料の値段は、税金を含め 1 リットル当たり 4.63 ユーロである。

8.2 FIA 燃料注文締切

FIA燃料を使用する全てのコンペティターは、2010年8月18日水曜日までに注文をする事。注文フォームはeメールもしくはファックスで送る事。

Eメール: towrcfuelorder@vitalequipment.co.uk

FAX: +44 1981 241169

Carless-Vital Equipmentが発行する燃料フォームは、ラリージャパンウェブサイト (www.rallyjapan.jp) より取得可能。

支払い振込先:

Owner of account: Petrochem Carless Ltd re World Rally

Deposit Bank: Lloyds TSB bank

Code: 30-00-09

Accounts No: 86350201

IBAN: GB 94 LOYD 3000 0986 3502 01

SWIFT: LOYDGB21013

支払いは全て前払い制。未使用分についてはラリー終了後、返金される。

8.3 ノンプライオリティードライバー

ノンプライオリティードライバーはFIA燃料、もしくはオーガナイザー用意する市販ポンプ燃料を選択できる。FIA燃料を使用する場合、上記8.1及び8.2を参照する事。

ポンプ燃料を使用するコンペティターはラリージャパンウェブサイトのコンペティターセクションにある「燃料注文書」をダウンロードして、注文する事。

記載した注文書は、8月18日水曜日18時までにラリージャパン事務局 (info@rallyjapan.jp) に送る事。

9. レッキ

9.1 登録手順及びスケジュール

9.1.1 レッキに参加する全てのドライバーは、レッキ開始前までに登録された各自のレッキ用車両の詳細を提出しなければならない。登録に際し、各クルーには、レッキカード及び車両ナンバーが提供される。

9.1.2 スケジュール

スケジュールについては付則 2 を参照する事。

9.2 クルーの尊守事項

9.2.1 レッキには、WRC 規定 25.1 に合致した、一般量産車両を使用する事。

9.2.2 レッキの間、左側のリアサイドのウィンドウに車両 ID パスを貼付しなければならない。レッキの通過は、各スペシャルステージのスタートオフィシャルによって、チェックされなければならない。

9.2.3 各クルーは、各スペシャルステージを最大で 2 回走行することが出来る。但し同じ区間を重複使用するスペシャルステージは 1 つのステージとして 1 ヶ所で 2 回の走行とする。

9.2.4 レッキの間、競技者は交通法規を遵守する事。全てのステージの制限速度は時速 60km である。いかなる場合も他の道路使用者の安全と権利を尊重しなければならない。オフィシャルはレッキのルート上で競技車の動作を目視又は計測機器、写真、ビデオによって監視することがある。いかなる違反も審査委員会に報告される。

9.3 速度監視装置の取り付け

公式通知により指名された全てのドライバーは、レッキ車両に速度監視装置を取り付ける事が求められる。機器の受け取りはラリーHQにて9月6日(月)17:00~19:00に行なわれる。

10. 参加確認**10.1 必要(提出)書類**

- a) エントラントライセンス
- b) ドライバー、コ・ドライバーのライセンス及び免許証
- c) ドライバー、コ・ドライバーのパスポートもしくは身分証明証(海外選手のみ)
- d) 海外ライセンスのエントリーはASN発行の証明書
- e) 車検証、自賠責保険証書
- f) エントリーフォームへの全ての必要事項の記入
- g) 車両保険証券及び登録証

h) 海外登録のエントリー車両は、JAFが発行する輸入時のカルネの証明書類、又は関税定率法の書類

注: AIT/FIAカルネ以外の方法で輸入された車両はラリージャパンで出走することはできない。また、AIT/FIAカルネが発行されない、もしくはAIT/FIAカルネが日本国から承認されていない国の場合は、オーガナイザーに連絡する事。

10.2 場所及び日時

場 所 ラリー競技事務局(北翔クロテック月寒ドーム)

日 時 2010年8月7日(火) 9時00分~19時00分迄

11. 公式車輛検査、マーキング及びシーリング

11.1 場所及び日時

場 所 北翔クロテック月寒ドーム

時 刻 2010年9月8日(水) 09時00分～21時00分迄

競技車両(P1車両を除く)は9月7日(火曜日)18時00分に公式掲示板に発表されるスケジュールに従って公式車検を受けなければならない。

全ての車両のスペアを含むギアボックスとデフのマーキング、及び全てのターボチャージャー付車両のスペアを含むターボチャージャーシーリングは、車検のスケジュールに従って行われる。又上記スケジュール以外に技術委員長及びFIAテクニカルデリゲートの指示により別の時間帯に行なう場合がある。

全ての車両にFIAセーフティトラッキングシステムを取り付ける。公式車検を受ける前までに非常ボタンの作動確認をしておかなければならない。詳細はラリージャパンウェブサイトか事務局まで問合せ下さい。

ギアボックスおよびデフへのシーリングを目的として、全ての車両は車検前に、サンプガードを取り外しておく事。そして、重量計測の為に車両と共におくこと。

11.2 マッドフラップ

国際スポーツ規約付則J第252.7.7を順守する限りにおいて、マッドフラップの使用が認められる。

11.3 ウインドウ/ネット

国際スポーツ規約付則J第253.11を順守する限りにおいて、銀色もしくは有色フィルムをサイド及びリアウインドウに使用する事が認められる。

11.4 ドライバーの安全装備

クルーは、付則L項III章第1-4に準拠した、ホモロゲートされたヘルメット及びその他の安全を確保する衣服及び装備を身につける事。

11.5 国内規則

無線機の使用は許される。但し使用を希望する場合は少なくとも3ヶ月前までに大会競技事務局まで申し出ること。

12.その他の手順

12.1 セレモニアルスタート手順

TBA

12.2 アーリーチェックインの承認

TC10C (Day1終了)、18C (Day2終了)、26C (ラリー終了)においてクルーは、ペナルティーを受けることなく、アーリーチェックインが認められる。但し、全てのリエゾンにおいて、道路交通法を順守する事。

12.3 スーパースペシャルステージ手順

スーパースペシャルステージは札幌ドーム内及びその右隣に設定される。

12.3.1 スーパースペシャルステージ (SS1、2、9、10、17、18、25、26) の前のホールディングエリア (SS1、2の場合はアッセンブリーエリア) より競技車は1分及び2分の間隔でスタートへ移動する。

各ペアのクルーは3分間隔でスタートする。スーパースペシャルステージでは2台の車両に同じスタート時刻が与えられる。このステージは異なるスタート位置から同時スタートするが、ロードブックに記載された何れかのスタート位置はオーガナイザーにより決定される。主催者はこのステージのスタート順及びスタートする車両の組合せを任意に決定することができる。

12.3.2 黄旗での合図は黄色の点滅ライトシステムに変更する。そのライトはコースサイドに適切な間隔で設置される。スーパースペシャルステージ走行中にこのライトが点滅した場合、そのライトが点滅されたクルーで、競技長がライト点滅の原因とならなかったと判断されたクルーはオーガナイザーが指定した時間に再スタートすることが認められる。この場合、クルーはトラックをゆっくりと進んでスタートポイントまで向かい、マーシャルの指示に従うこと。

12.4 プロモーションイベント

12.4.1 メディア及びプロモーションアクティビティーは9月9日木曜日16時30分～18時00分で行われる。オーガナイザーは出席するクルーを指名する権利を有する。

12.4.2 ラリー中のタイムカード交換

タイムカードは各セクション終了のタイムコントロールで回収される。新しいタイムカードは各セクションスタートのタイムコントロールで、マーシャルにより配布される。

12.4.3 スタートエリア/スタートパルクフェルメ

スタート前パルクフェルメはありません。

12.4.4 SSのスタートシステムはWRC規定36.2及び付則VIIの通り。

12.4.4.1 スタートライト手順

スペシャルステージスタートは、電子式スタートシステムによって行われる。又このシステムに同調したフライングチェックシステムを使用する。

12.5 ラリー中の標準時間

ラリー中は、日本の標準時間が採用される（GMT+09:00）

13. オフィシャルのウェア

ポストチーフ	青いベストに白文字
ポストマーシャル	オレンジのベストに白文字
スペシャルステージコマンドー	緑のベストに黄色文字
ラジオマーシャル	黄色のベストに黒文字
チーフスペクテーターマーシャル	赤いベストに白文字
スペクテーターセーフティーマーシャル	赤いベストに白文字
セーフティーマーシャル	赤いベストに白文字
メディカル要員	緑のベストに白十字
選手リレーション役員	黄色のベストに黒文字
技術委員	黒色のベストに黄色文字
その他のオフィシャル ウェア	(OFFICIAL の表記と RallyJapan ロゴ入り)

14. 賞典

表彰式は 2010 年 9 月 12 日 日曜日 15 時 00 分より、北翔クロテック月寒ドームで行われる。

総合成績

第1位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第2位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第3位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第4位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第5位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第6位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第7位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第8位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第9位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー
第10位	ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー

クラス賞典

グループN

クラスN1: 1400cc以下の排気量 1位に	トロフィー、副賞
クラスN2: 1400ccを越え、1600cc以下の排気量 1位に	トロフィー、副賞
クラスN3: 1600ccを越え、2000cc以下の排気量 1位に	トロフィー、副賞
クラス N4: 2000cc を越える排気量 1 位に	トロフィー、副賞

グループA

クラスA5: 1400cc以下の排気量 1位に	トロフィー、副賞
クラスA6: 1400ccを越え、1600cc以下の排気量 1位に	トロフィー、副賞
クラスA7: 1600ccを越え、2000cc以下の排気量 1位に	トロフィー、副賞

2000cc 2WD NA エンジン部門

第1位 ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー、副賞
スーパー2000 第1位 ドライバーとコ・ドライバーに	トロフィー、副賞

15. 再車検及び抗議・提訴

15.1 再車検

日 時 2010年9月12日(日) 15時30分～
場 所 北翔クロテック月寒ドーム

再車検対象車のメカニックもしくはチーム代表者は、再車検に立会う事。

15.2 抗議・提訴

抗議料金は、101,900円である
抗議が車両のさまざまな部分の分解及び再組立を含むものである場合、その申立者は別途保証金を払わなければならない

(a) 車両の個々の部品(エンジン、ミッション、ステアリング、ブレーキシステム、電装品、車体など)に係わる場合 52,500円

(b) 抗議がその車両全体に関わる場合 105,000円

作業及び車両の運搬に係わる費用は、抗議が認められない場合は抗議申立者が、又認められた場合は当該抗議の対象者がそれぞれ支払うものとする。

抗議が認められなかった場合で、抗議に係わる費用(車検・運搬など)が保証金の額を上回った場合、その差額は抗議者が支払うものとする。逆に当該費用の額が下回った場合、その差額は抗議者に返金されるものとする。

15.3 提訴料金

JAF への提訴料金は、254,800 円である。
FIA への国際提訴料金は、6,000 ユーロである。

付則 1 アイテナリー

Start DAY 1 - THURSDAY 9 SEPTEMBER 2010						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
0	Start DAY1 - (SAPPORO DOME Holding area)					18:31
1	Sapporo		0.03	0.03	0:06	18:37
SS 1	SSS SAPPORO 1	1.57				18:40
2	Sapporo		0.54	2.11	0:09	18:49
SS 2	SSS SAPPORO 2	1.57				18:52
2A	Overnight Parc Ferme In		6.49	8.06	0:25	19:17
Overnight Parc Ferme						
Re - Start DAY 1 - FRIDAY 10 SEPTEMBER 2010						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
2B	Parc Ferme Exit / Service A In					9:00
Service A (TSUKISAMU DOME)		3.14	7.06	10.20	0:15	
2C	Service A Exit					9:15
RZ 1	Refuel - All competitors (TSUKISAMU DOME)	3.14	7.06	10.20		
	Distance to next refuel	26.83	84.97	111.80		
3	Iwanke		70.82	70.82	1:05	10:20
SS 3	IWANKE Long 1	26.83				10:23
RZ 2	Refuel - All competitors (CHITOSE)	26.83	84.97	111.80		
	Distance to next refuel	31.33	70.62	101.95		
4	Sikot		21.86	48.69	1:01	11:24
SS 4	SIKOT 1	27.76				11:27
5	Koyka		7.65	35.41	0:45	12:12
SS 5	KOYKA 1	3.57				12:15
5A	TSUKISAMU DOME Holding Park and Technical Zone In		57.30	60.87	1:00	13:15
5B	Holding Park Exit / Service B In				0:10	13:25
Service B (TSUKISAMU DOME)		58.16	157.63	215.79	0:30	
5C	Service B Exit					13:55
RZ 3	Refuel - All competitors (TSUKISAMU DOME)	31.33	70.62	101.95		
	Distance to next refuel	26.83	84.97	111.80		
6	Iwanke		70.82	70.82	1:05	15:00
SS 6	IWANKE Long 2	26.83				15:03
RZ 4	Refuel - All competitors (CHITOSE)	26.83	84.97	111.80		
	Distance to next refuel	34.47	76.42	110.89		
7	Sikot		23.97	50.80	1:01	16:04
SS 7	SIKOT 2	27.76				16:07
8	Koyka		7.65	35.41	0:45	16:52
SS 8	KOYKA 2	3.57				16:55
8A	SAPPORO DOME Holding Park and Technical Zone In		63.10	66.67	1:20	18:15
8B	Holding Park Exit				0:10	18:25
9	Sapporo		0.03	0.03	0:06	18:31
SS 9	SSS SAPPORO 3	1.57				18:34
10	Sapporo		0.54	2.11	0:09	18:43
SS 10	SSS SAPPORO 4	1.57				18:46
10A	Parc Ferme and Technical Zone In		6.49	8.06	0:25	19:11
10B	Parc Ferme Exit / Flexi Service C In					19:14
Flexi - Service C (TSUKISAMU DOME)		61.30	172.60	233.90	0:45	
10C	Flexi - Service C Exit / Overnight Parc Ferme In					19:59
All cars must be returned to Parc Ferme no later than						22:41
DAY 1 Totals		122.60	337.29	459.89		
Sunrise : 0508hrs Sunscot : 1755hrs						

SECTION 1

SECTION 2

SECTION 3

Itinerary Ver. 3.1
15.07.2010

Start DAY 2 - SATURDAY 11 SEPTEMBER 2010

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
10D	Parc Ferme Exit / Service D In					9:00
	Service D (TSUKISAMU DOME)	0.00	0.00	0.00	0:15	
10E	Service D Exit					9:15
RZ 5	Refuel - All competitors (TSUKISAMU DOME)	34.47	76.42	110.89		
	Distance to next refuel	17.68	77.76	95.44		
11	Nikara		66.58	66.58	1:10	10:25
SS11	NIKARA Short 1	17.68				10:28
RZ 6	Refuel - All competitors (CHITOSE)	17.68	77.76	95.44		
	Distance to next refuel	43.21	64.32	107.53		
12	Kamuycep		24.58	42.26	0:55	11:23
SS12	KAMUYCEP 1	33.66				11:26
13	Kina		14.63	48.29	0:53	12:19
SS13	KINA 1	9.55				12:22
13A	TSUKISAMU DOME Holding Park and Technical Zone In		36.29	45.84	0:54	13:16
13B	Holding Control Exit / Service E In				0:10	13:26
	Service E (TSUKISAMU DOME)	60.89	142.08	202.97	0:30	
13C	Service E Exit					13:56
RZ 7	Refuel - All competitors (TSUKISAMU DOME)	43.21	64.32	107.53		
	Distance to next refuel	17.68	77.76	95.44		
14	Nikara		66.58	66.58	1:10	15:06
SS14	NIKARA Short 2	17.68				15:09
RZ 8	Refuel - All competitors (CHITOSE)	17.68	77.76	95.44		
	Distance to next refuel	46.35	70.12	116.47		
15	Kamuycep		24.58	42.26	0:55	16:04
SS15	KAMUYCEP 2	33.66				16:07
16	Kina		14.63	48.29	0:53	17:00
SS16	KINA 2	9.55				17:03
16A	SAPPORO DOME Holding Park and Technical Zone In		42.09	51.64	1:11	18:14
16B	Holding Control Exit				0:10	18:24
17	Sapporo		0.03	0.03	0:06	18:30
SS17	SSS SAPPORO 5	1.57				18:33
18	Sapporo		0.54	2.11	0:09	18:42
SS18	SSS SAPPORO 6	1.57				18:45
18A	Parc Ferme and Technical Zone In		6.49	8.06	0:25	19:10
18B	Parc Ferme Exit / Flexi Service F In					19:13
	Service F (TSUKISAMU DOME)	64.03	154.94	218.97	0:45	
18C	Flexi - Service C Exit / Overnight Parc Ferme In					19:58
	All cars must be returned to Parc Ferme no later than					22:40
	DAY 2 Totals	124.92	297.02	421.94		
	Sunrise : 05:09hrs Sunset : 17:53hrs					

SECTION 4

SECTION 5

 Itinerary Ver. 3.1
 15.07.2010

Start DAY 3 - SUNDAY 12 SEPTEMBER 2010

TC SS	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
18D	Parc Ferme Exit / Srevice G In					6:00
	Service G (TSUKISAMU DOME)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	0:15	
18E	Srevice G Exit					6:15
RZ 9	Refuel - All competitors (TSUKISAMU DOME)	46.35	70.12	116.47		
	Distance to next refuel	22.23	113.06	135.29		
19	Bisan		71.78	71.78	1:13	7:28
SS19	BISAN1	5.00				7:31
20	Naekawa		27.62	32.62	0:39	8:10
SS20	NAEKAWA 1	17.23				8:13
RZ 10	Refuel - All competitors (SUNAGAWA)	22.23	113.06	135.29		
	Distance to next refuel	25.23	54.67	79.90		
20A	SUNAGAWA Holding Park and Technical Zone In		14.66	31.89	0:46	8:59
20B	Holding Park Exit				0:30	9:29
21	Sunagawa		0.05	0.05	0:05	9:34
SS21	SUNAGAWA 1	3.00				9:37
22	Bisan		12.34	15.34	0:32	10:09
SS22	BISAN 2	5.00				10:12
23	Naekawa		27.62	32.62	0:39	10:51
SS23	NAEKAWA 2	17.23				10:54
RZ 11	Refuel - All competitors (SUNAGAWA)	25.23	54.67	79.90		
	Distance to next refuel	6.14	101.91	108.05		
23A	SUNAGAWA Holding Park and Technical Zone In		14.66	31.89	0:46	11:40
23B	Holding Park Exit				0:10	11:50
24	Sunagawa		0.05	0.05	0:05	11:55
SS24	SUNAGAWA 2	3.00				11:58
24A	SAPPORO DOME Holding Park and Technical Zone In		93.80	96.80	1:43	13:41
24B	Holding Park Exit				0:10	13:51
25	Sapporo		0.03	0.03	0:06	13:57
SS25	SSS SAPPORO 7	1.57				14:00
26	Sapporo		0.54	2.11	0:09	14:09
SS26	SSS SAPPORO 8	1.57				14:12
26A	Technical Zone In		6.49	8.06	0:25	14:37
26B	Technical Zone Exit / Service H In				0:03	14:40
	Service H (TSUKISAMU DOME)	53.60	269.64	323.24	0:10	
26C	Service H Exit / Finish Holding Park					14:50
	Ceremonial Finish (TSUKISAMU DOME)					15:00
	Final Parc Ferme					
DAY 3 Totals		53.60	269.64	323.24		
Sunrise : 0510hrs Sunset : 1751hrs						

SECTION 6

SECTION 7

SECTION 8

TOTALS OF THE RALLY

	SS	Liaison	Total	% of	%
Day 1 - 10SS	122.60	337.29	459.89	Special	26.65%
Day 2 - 8SS	124.92	297.02	421.94	Stages	29.60%
Day 3 - 8SS	53.60	269.64	323.24		16.58%
Total - 26SS	301.12	903.95	1205.07		24.98%

付則 2 レッキスケジュール

9月7日 火曜日

Group A

オープン時間	ステージ名称	コメント	
0800-1000	SS 3 / 6 IWANKE	2回連続走行	サービスパークから 70.82Km
1000-1300	SS12 / 15 KAMUY CEP	2回連続走行	SS3 / 6 から 26.86Km
	SS13 / 16 KINA	KINA から KAMUY CEP まで: 29.73Km	SS12 / 15 から 14.79Km
1300-1600	SSS SAPPORO	2回連続走行	サービスパークから 5.90Km

Group B

オープン時間	ステージ名称	コメント	
0800-1000	SSS SAPPORO	2回連続走行	サービスパークから 5.90Km
1000-1300	SS 3 / 6 IWANKE	2回連続走行	サービスパークから 70.82Km
1300-1700	SS12 / 15 KAMUY CEP	2回連続走行	SS3 / 6 から 26.86Km
	SS13 / 16 KINA	KINA から KAMUY CEP まで: 29.73Km	SS12 / 15 から 14.79Km

9月8日 水曜日

グループ A

オープン時間	ステージ名称	コメント	
0800-1200	SS19 / 22 BISAN	2回連続走行	サービスパークから 71.78km
	SS20 / 23 NAEKAWA	SUNAGAWA から BISAN まで: 12.34Km	SS19 / 22 から 27.62Km
	SS21 / 24 SUNAGAWA		SS20 / 23 から 14.66Km
1300-1700	SS11 / 14 NIKARA	2回連続走行	SS21 / 24 から 140.35Km
	SS 4 / 7 SIKOT	KOYKA から NIKARA まで: 28.84Km	SS11 / 14 から 4.21Km
	SS 5 / 8 KOYKA		SS 4 / 7 から 7.53Km

Group B

オープン時間	ステージ名称	コメント	
0800-1200	SS11 / 14 NIKARA	2回連続走行	サービスパークから 66.58Km
	SS 4 / 7 SIKOT	KOYKA から NIKARA まで: 28.84Km	SS11 / 14 から 4.21Km
	SS 5 / 8 KOYKA		SS 4 / 7 から 7.53Km
1300-1800	SS21 / 24 SUNAGAWA	2回連続走行	SS 5 / 8 から 131.07Km
	SS20 / 23 NAEKAWA	SUNAGAWA から BISAN まで: 12.34Km	SS 21 / 24 から 12.34Km
	SS19 / 22 BISAN		SS 20 / 23 から 25.28Km

Group A = FIA Priority 1,2 and 3

Group B = Non Priority

付則 3 CRO



Mr. Peter MACNEALL
Mobile: 080-3235-5791
Email:
p.macneall@bigpond.com



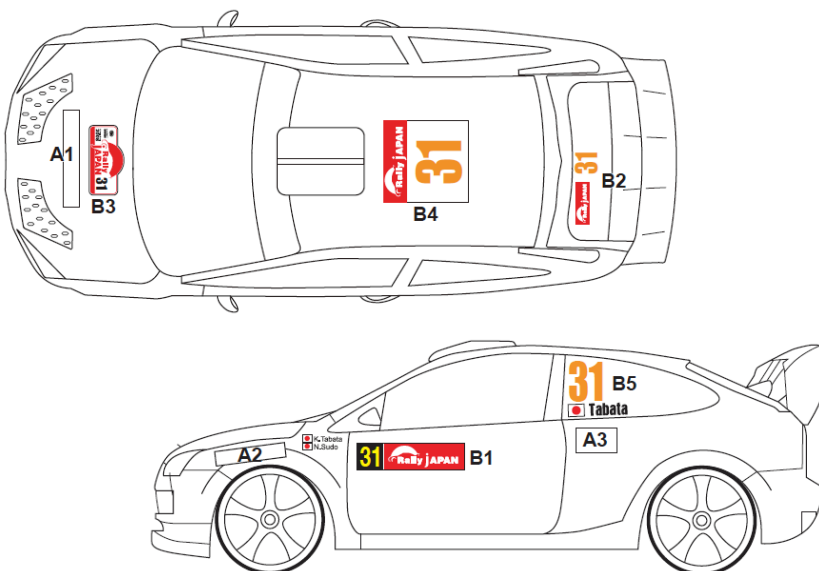
竹道 雄康
Mobile: 090-7057-8325
Email:
y-takamichi@takemichi.co.jp

選手リレーションオフィサースケジュール

スケジュール時間以外にも、上記の携帯電話番号にて連絡を取ることが出来る。

CRO のスケジュールは公式通知で発表される。

付則 4 広告スペース及びゼッケンプレートの説明



下記に示したラリープレート、ゼッケンそして広告ステッカーがオーガナイザーより提供される。

- B1** 長さ67cm高さ17cm(1cmの白い枠を含む)のステッカー2枚。このステッカーは15cm×15cmのゼッケンを含まなければならない。ゼッケンは常にステッカーの前の部分にあること(進行方向)。各ステッカーは、ゼッケンの部分を前にしてドアのフロント側の端に窓のラインから7cmから10cm下の位置 にステッカーの上部がくるように水平に張ること。ステッカーの周り10cm以内は車両のボディーカラーのみとする。
- B2** リアウィンドウにオーガナイザーが提供する高さ10cm長さ30cmのパネル1枚。このパネルはリアウィンドウ上部中央に位置し、15cmの正方形の左に位置する。この正方形には蛍光のゼッケンが配され、リアの目線の高さからも認識できる事。
- B3** 幅 43 cm×高さ 21.5 cmの長方形に収まるフロント用ラリープレート
- B4** 屋根用に幅50cm、高さ52cmのゼッケン1枚を、車両の屋根の前部に数字の上が来るように張る。
- B5** 両側のリアサイドウィンドウ用ゼッケンは、高さ25cmで2枚。又このゼッケンはドライバーの名前に接するようにリアサイドウィンドウの上部に張ること(以下参照)。
- A1** オプション広告 TBA
A2 オプション広告 TBA
A3 オプション広告 TBA

2010			
------	--	--	---

パスポートに表記されているドライバーとコドライバーの名前を、国旗と共に両側のリアサイドウインドウのゼッケン下に貼ること。ドライバー名の表記方法の詳細は WRC 規定第 19 条を参照すること。またドライバーとコドライバーの名前を、国旗と共に車両の左右フロントフェンダーにも貼ること。